

さいたま蕎麦打ち倶楽部のそば栽培

さいたま蕎麦打ち倶楽部は、蕎麦を基本から理解するため、埼玉県内に畑を借りて蕎麦の栽培を実践しています。

平成9年から12年まで

借地場所 埼玉県比企郡都幾川村大野
借地面積 約200坪（栽培面積150坪）
栽培開始

平成9年8月平成13年から

借地場所 埼玉県鴻巣市箕田
借地面積 約150坪
栽培開始 平成13年8月

以下に平成12年の記録を紹介します。

畝当たり150g	
キタワセ	6畝 1000g
ボタン	3畝 450g
福島	3畝 450g
赤い蕎麦	1畝 200g
計	3,100g

同一の畑で種類の違うそばを栽培するのは乱交配の恐れがあり、好ましくないとされていますが、勉強のため実施してみます。



今年は「はなまる学習塾」の児童10人が体験蕎麦栽培で特別参加。
皆丁寧に蕎麦の種を蒔く。



種蒔きが済んだら、鳥除けの糸を張る。

特に、カラスには警戒が必要です。



全作業終了となって、参加者全員で記念写真。

はなまる学習会の子供たちご苦労様でした。

次の草取り・土寄せもよろしくね。



皆で、豊作を祈りながら土寄せをしました。

今年は紋別の鈴木氏のアドバイスにより間引きはしないことにしました。

赤い花の蕎麦が成育が遅いようです



白く可憐な花が畑一面咲いていました。

成育は常陸秋そばが最もよく、次いでキタワセ、ポタンの順で、赤い花のそばも可愛い淡い赤の花を咲かせていましたが、成育は他の半分ほどです。

今年は収穫が楽しみです。



今日はいよいよ刈り入れです。

子供たちも自分達が蒔いた畝を皆で楽しく刈り入れて、終了後、近くのキャンプ場でほうとうどんを皆でいただきました。



丁寧に鎌や鋏で刈り、竹で組んだ台に架けて乾燥です。

さて、脱穀、製粉はいかがでしょうか？

